

JR連合第25回ユースラリー開催

8月8日、第25回ユースラリーが開催され、貨物連合から4名が参加しました。開催にあたり、コロナ禍でどのような準備を進め、ZOOMにより全国7会場を繋いで仲間と交流する形式での開催となりました。

当日はコロナウイルス感染症防止に努め、お忙しい中、JR連合より荻山会長、宮野部長、中村前部長（現・四国労組書記長）にも出席して頂き、荻山会長より激励のメッセージを頂戴しました。

様々なゲームを通じての交流となり、画面越しでは多少のストレスを感じることもありました。久しぶりに多くの仲間と交流でき、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。今回の開催にあたり、大変難しい舵取りを余儀なくされましたが、この経験が今後必ず役に立つと思います。コロナ感染症の収束見通しが全く見えない状況であり、JR産業は窮地に追い込まれています。この難局を労使が一体となって乗り越えていきましょう。



JR連合東海地協第30回定期委員会開催

7月30日、名古屋市内にてJR連合東海地協第30回定期委員会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策を念に行い、寺西副議長による開会の挨拶により議事を進行しました。執行部を代表して挨拶に立った丸山議長は、「コロナ禍が長期化する中、感染リスクを抱えながらも、日夜最前線でエッセンシャルワーカーとしての社会的使命を果たしている仲間感謝申し上げる。JR産業の経営状況はかつてないほどの厳しい状況であり、将来に対して不安を

覚える組合員が多くいることを強く認識し、組織を挙げてこの難局を乗り越えていかなければならない」強く述べられました。

ご来賓として、JR連合政務所事務局長、相良組織・政治部長、中部交運労協石黒事務局長、伴野豊元衆議院議員にお越し頂き、各々よりご挨拶を賜りました。続いて執行部より、2020年度活動経過報告、決算報告、会計監査報告、2021年度活動方針（案）、予算（案）、委員会宣言（案）が提起され、全ての議案が採択されました。役員改選では入谷事務局長が退任し、新たに渡邊事務局長を選出し、新たな執行部体制を確立し、最後に丸山議長による「団結ガンバロー」で閉会しました。



大切なクルマだから、車両損害補償はしっかりと。

衝突、火災、盗難、落書き、イタズラによる損傷…など、さまざまな損害に備えてマイカーを守るのが車両損害補償。クルマの仕様・構造による割引制度も、さらに充実。ますますパワーアップした「オールリスク」がおすすめです。



セット加入でパワフル補償
マイカー共済(自動車総合補償) / 自賠責共済

みんなで暮らしをガード
交運共済
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合